

公益財団法人 檜の芽会 御中

## 令和6年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】	① 作成日	令和7年5月22日	
② 法人・団体名	特定非営利活動法人維新隊ユネスコクラブ		
③ 団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	東京都新宿区		
④ 責任者氏名	濱松敏廣	(役職名等)	理事長
⑤ 担当者氏名	濱松和香子	(役職名等)	理事/事務局

## 【奨学活動の概要】

⑥ 助成交付決定番号	R06-024	⑦ 助成金額	150万円	⑧ 申請カテゴリー	DS
⑨ 奨学活動名	自習室&食事つき個別指導型無料学習拠点の開催				
⑩ 主な実施場所名・及びその住所	ステップアップ塾西新宿教室・東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎敷地内トレーラーハウス				

⑪ 活動内容とその成果の概要（詳細は【様式3-2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

食事つき個別指導型無料塾「ステップアップ塾」は、年間で39回（7～2月では29回）実施し、のべ132人の小・中学生にのべ158人の指導員・スタッフが学習指導と食事の提供を行いました。無料自習室「STUDY CAMP」は7～3月末までに164回開催され、327名の小学生～高校生が利用しました。毎月初めに自習室のスタッフ入室予定表を配布しスタッフの質問対応範囲（教科と学年）を周知する他、毎月食と奨学金に関する支援情報のメール配信、教室内に食と奨学金の支援情報をまとめた専用サイトのQRコードを掲示、地域の子ども食堂情報をまとめたスライドショーの室内のテレビモニターでの上映、などの取り組みを行いました。

⑫ 奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式3-2等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A:人)	平均時間 (B:時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	255	2	510	平日利用者 1.2人/回 × 164回 土曜日利用者 2人/回 × 29回
高校生等	33	2	66	平日利用者 0.2人/回 × 164回
大学生等				
学習支援員等	309	2.5	773	平日支援員 1人/回 × 164回 土曜日支援員 5人 × 29回
その他				
合 計			1,349	

⑬ その他の定量的な数値（任意）

利用者アンケートを通じて、フードパントリーや子ども食堂を利用した家庭は全体の約1/4に、「奨学金の利用を申し込んだ」「申込を検討している」と回答した家庭は全体の半数に上りました。

## 令和6年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書（暫定）

### 奨学活動名：自習室&食事つき個別指導型無料学習拠点の開催

法人・団体名：特定非営利活動法人維新隊ユネスコクラブ

作成者 氏名：理事/事務局 濱松和香子

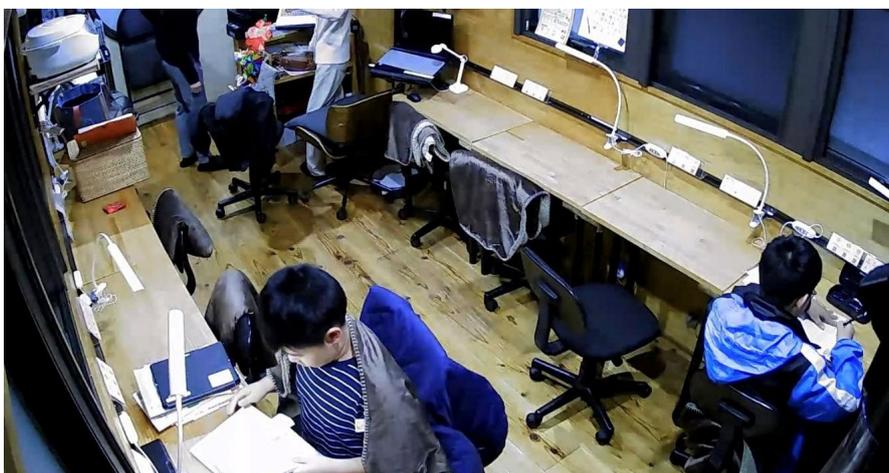
#### 1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

家庭の所得により子どもの受けられる学校外教育に格差が生じ、学力に影響を及ぼしているといういわゆる「教育格差」問題に対し、格差是正の一助となるべく食事付きの学習拠点を東京都新宿区に構え、週6日の支援を行っている。週1回の学習指導を行うと共に、平日5日は自習室として教室の解放・教材や軽食の提供・食支援や奨学金情報の提供等を行い、進学意欲がある子どもを学習面だけでなく生活面からも後押しする場としての機能を有することで、モデル拠点の確立と全国展開を目指す。

#### 2. 実施した奨学活動の詳細



↑土曜日に開催している食事つき個別指導型無料塾「ステップアップ塾」の授業の様子



↑平日に開催している食事つき無料自習室「STUDY CAMP」の様子



↑企業から提供を受けた教材。教室利用者が自由に活用できる。



↑室内のドリンク・お菓子・軽食コーナー



↑トレーラーハウス屋外に設置されたキッチンとダイニングスペース



↑土曜日の授業後には食事の準備をみんなで行い、食事を囲む

#### ◆参加人数（7～3月末日時点）

ステップアップ塾（土曜日）		STUDY CAMP（平日）	
のべ利用者数（人） 中学生以上	のべ支援員数（人）	のべ利用者数（人） 中学生・高校生	のべ支援員数（人）
58	145	230	164

#### ◆周知方法や協力いただいた関係者

- ・ 新宿区子ども家庭課企画係を通じて、新宿区内全小中学校に「STUDY CAMP」チラシを配布、地域センター等にチラシを配架
- ・ 東京都ひとり親家庭支援センターはあとのメールマガジンに、「ステップアップ塾」「STUDY CAMP」の利用者募集情報を掲載
- ・ 団体 Facebook ページで利用者募集情報を発信

#### ◆地域やボランティア活動との連携

- ・ 学生インカレサークル学習支援 Step Up!による大学での新入生歓迎イベントでの支援員募集協力
- ・ 地域子ども食堂からの開催情報の提供
- ・ 新宿区社会福祉協議会からの奨学金情報の提供
- ・ 教室内で地域の子ども食堂情報等を紹介・発信

#### ◆学習支援員について

- ・ 平日の学習支援員は社会人・大学生を中心としたボランティアスタッフが、毎日1名ずつ交代で教室に在室またはオンラインで見守りを行いながら対応している。スタッフ在室予定表を利用者に毎月配布し、スタッフの対応可能な科目や学年を周知している。またオンラインで教室の見守りを行う際は、教室のPCを通じて利用者の質問対応をオンライン MTG システムで行う他、高校生等ハイレベルな質問については教室に掲示されている質問対応アプリで質問を受け付け、概ね24時間以内に現役の大学生等が回答を行っている。
- ・ 土曜日の学習支援員は、参加登録をした現役の高校生～社会人が対応している。主に教室に設

置している専用教材で学習指導を行う他、授業後に夕食を一緒に囲んだ。また授業前にワークショップ（アイスブレイク等）を実施することで、利用者との心の交流を図り、学習の場であると共に相談相手のいる居場所としての役割を果たしてきた。

- ・ 発達障害を抱える利用者がいたことから、学習指導の進め方について言語聴覚士によるアドバイスを受け、支援員と情報共有を行った。
- ・ 発達障害を抱える利用者と精神不安の強い保護者について、地域の保健センターへ相談を行い、適切な支援に繋がるよう窓口の紹介を行った。
- ・ 貴会による助成事業であることの表示

## <ご紹介>

<支援者の皆さま>

- 特別協賛 : FLEX(株)
- 協 賛 : (株)UPDATER (株)八洋
- 助 成 : (公社)日本ユネスコ協会連盟 (公財)樫の芽会 新宿区社会福祉協議会
- パートナー : (認定NPO)フードバンク北九州ライオンズクラブ 高知ユネスコ協会
- 車両提供 : KTGホールディングス(株) FLEX(株)
- 会場協力 : (株)あさひ総合建物(前橋敷島B.O) 芸能花伝舎(西新宿B.O) (株)堀野商事(株)
- 教材協力 : (株)教育社教育グループ ジャパン建材(株) (株)スプリックス トーハン従業員

● プロボノ : 伊藤洋行 佐藤光成 上田ムートンズ法律事務所 草山次一 足利誠次 杉崎実 高橋聖子 杉山佐保美 谷村友佳 赤松よう子 西山麻生 西森光雄 竹内一夫 松下雅 湯田仁・元子

● 協賛協力 : 学生フェスティバル学生協会のLP1 情報入会・上野大学 東京ワセダロータリークラブ

● 協 力 : ありかとうブック 興キャリアアジャスト 佐久間実業 興製菓院 (設)山元学校 (NPO)ゆたりの 興ニチヤネットワークSOSK(株) フードバンクまえばし フォーマーマーケット高松二丁目店 ステップアップ教育館 こども食育ネットワークまえばし 中央図書館 東工スモコテック 徳島市のセカンドハーベストショップ (NPO)こころの食育支援ネット

● 提 供 : 新宿区(西新宿B.O) 中野区(新江古田B.O) 前橋市(前橋敷島B.O) 高知市教育委員会(高知はりまやB.O)

● 後 援 : 興アサヒメディカルサービス 石前実 興インターネット 上田ムートンズ法律事務所 興M+International Education 大宮一 堀田豊彦(協賛)主事 大田高志 杉本隆夫 カフェ・トリアンツ 興キャリアアジャスト 木村孝一 沼津 たくま動物病院 G.FEX Japan(株) 興製菓院 JNC(株) 興食品 興スマイルカンパニー 興スリーエイト ソリューションズ(株) 高1羽生 TKコンサルティング(株) 興安理ライアンス 興丹生 EEE Therapies(株) 興ニチヤネットワーク 興インクワイアラー 興食育プラットフォーム 興建士 田中裕一郎 興roomアンビース 興と録音 興MACH2 興原一 興Modern Artisan 山崎裕花(建築士事務所) ルームパーク

● 賛助会員(学生ボランティア活動): 佐藤美穂 西山麻生 野村実 伊勢野介 宮下孝次 西山麻生

<無料自習室「STUDY CAMP」ご案内> [STUDY CAMP公式はこちら](https://twitter.com/STUDYCAMP201811)  
<https://twitter.com/STUDYCAMP201811> 

西新宿B.O	新江古田B.O	北九州八幡B.O	前橋敷島B.O	高知はりまやB.O
<p>※: NPO 興4階 エキスクリップ</p> <p>◆ 住所 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎 西車庫</p> <p>◆ 開催日時 平日 18:00-21:00 ※年末年始・祝日は除く ※最終受付: 20:00 まで</p> <p>◆ 利用料: 無料</p> <p>◆ 人数: 10人/1日</p> 	<p>※: NPO 興3階 エキスクリップ</p> <p>◆ 住所 東京都中野区江坂町 2-14-17 ワニ一 第三階の板 201</p> <p>◆ 開催日時 平日 18:00-21:00 ※年末年始・祝日は除く ※最終受付: 20:00 まで</p> <p>◆ 利用料: 無料</p> <p>◆ 人数: 16人/1日</p> 	<p>※: 認定NPO フードバンク北九州ライオンズクラブ</p> <p>◆ 住所 福岡県北九州市八幡東区 中央2丁目14-17</p> <p>◆ 開催日時 平日 18:00-20:30 ※年末年始・祝日は除く ※最終受付: 20:00 まで</p> <p>◆ 利用料: 無料</p> <p>◆ 人数: 12人/1日</p> 	<p>※: NPO 興3階 エキスクリップ</p> <p>◆ 住所 群馬県前橋市上小時間2-10-11 ステージア敷島303</p> <p>◆ 開催日時 平日 18:00-21:00 ※年末年始・祝日は除く ※最終受付: 20:00 まで</p> <p>◆ 利用料: 無料</p> <p>◆ 人数: 10人/1日</p> 	<p>※: NPO 興4階 エキスクリップ</p> <p>◆ 住所 高知県高知市はりまや町3-7-11 土佐監理院2階</p> <p>◆ 開催日時 平日 18:00-21:00 ※年末年始・祝日は除く ※最終受付: 20:00 まで</p> <p>◆ 利用料: 無料</p> <p>◆ 人数: 20人/1日</p> 

【編集後記】  
2月に入り、いよいよ今年度最後の授業月となりました!! 私自身も今年度の学生編集長を務めさせていただき、最後の月となると寂しさを感じています。最後まで一緒に勉強を頑張ってくださいませ!! 一年間ありがとうございました!! (学生講師 池田瑠樹)

ステップアップ読書推進隊「IMAGINATION」 2024.2.1発行 巻数 79冊

発行・主催 NPO 法人 興新読書推進隊・ステップアップ隊  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-16-1-201  
電話: 050-7110-1820 郵: suj@shintal.org

ステップアップ読書ホームページ: <https://www.stepup-unesco.com>

興新読書推進隊: [info@shintal.org](mailto:info@shintal.org)

発行人 濱松 敬寛  
編集長 濱松 和香子  
学生編集長 池田瑠樹  
三宅悠未  
高内了  
事務総編集長 柳田康太

6

↑ 毎月発行されている学級新聞のご紹介ページに名称掲載 (以下、拡大図)

## <ご紹介>

<支援者の皆さま>

- 特別協賛 : FLEX(株)
- 協 賛 : (株)UPDATER (株)八洋
- 助 成 : (公社)日本ユネスコ協会連盟 (公財)樫の芽会 新宿区社会福祉協議会
- パートナー : (認定NPO)フードバンク北九州ライオンズクラブ 高知ユネスコ協会
- 車両提供 : KTGホールディングス(株) FLEX(株)
- 会場協力 : (株)あさひ総合建物(前橋敷島B.O) 芸能花伝舎(西新宿B.O) (株)堀野商事(株)
- 教材協力 : (株)教育社教育グループ ジャパン建材(株) (株)スプリックス トーハン従業員



↑いただいた掲示用のシールをフォトフレームに入れ、教室に掲示

### 3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

#### 【得られたもの（知見）】

- ・ 自習室を定期的にご利用するようになる利用者は、家に自室や勉強机などの学習環境がないだけでなく、食事がない場合が多いことなどはこれまでの実施の中で見えていたことであったが、ここ数年の酷暑の中でも家でエアコンを使うことができないという声もあり、利用者の生活の厳しさを更にうかがい知る機会になった。コピー機を毎回利用する利用者もおり、有料のコピー機の利用も厳しい人がいることも知った。
- ・ アンケート調査を実施したところ、全体の1/4程度の家庭が、教室で提供した情報を通じてフードパントリーや子ども食堂を利用したと回答した。奨学金情報に至っては、利用したと回答したのは3件であったが、約半数が利用を検討していると回答した。食や奨学金等生活面での支援のニーズが高いことが理解できた。
- ・ 自習室に在室するスタッフへの質問については、数学指導のニーズが最も高いことが、支援員へのヒアリングで理解できた。

#### 【反省点・課題】

- ・ 自習室の利用申込をしてから利用に至るまでに時間がかかる場合が多々見られ、アンケートから「室内の様子がわからないので不安」という声があり、利用紹介の動画を作成して、利用登録者と共有した。多少の利用者増にはつながったが、期待していたほどの大幅な増加にはならなかったことが課題である。今後は、利用者の世代に親しみやすいSNSを活用した広報にも力を入れたい。(2025年5月から、平日はほぼ毎日公式Xでスタッフによる投稿を実施中。)

#### 【今後の発展性】

- ・ 現在、このトレーラーハウスを用いた学習支援拠点の構築に、高知県内（香美市、香南市）での展開が検討されている。平時には学習支援拠点として活用され、南海トラフ地震等有事の際にも臨時の支援拠点としての活用が期待されるトレーラーハウスに、期待が集まっている。

#### 4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

- ・ 土曜日の無料塾に参加するようになった利用者が、学習の意欲を高め、平日も自習室利用をするようになり、高校受験や定期考査に向けて前向きに取り組んでいる姿が多々見受けられるようになった。逆のケースで、平日に自習室利用をしていた生徒が、無料塾での定期的な学習指導を希望し、申し込む姿もあった。
- ・ 頻繁に自習室を利用する生徒が室内に用意されている軽食を楽しみにしている様子が見られたが、冷凍食品やレトルトばかりだと空腹はまぎれる一方で健康面の心配が出てきたため、支援員が自らおにぎりを室内で作る姿も見られ、温かい雰囲気自習室になっている。
- ・ 自宅浪人をしていた生徒が学習場所を探していたところ、当自習室の紹介を区の支援センターで受け利用するようになった。利用を開始してから、オンライン質問アプリを積極的に活用している。
- ・ 無料塾を卒業して高校生になった元塾生が、土曜日に学生講師やスタッフとして参加するようになった。
- ・ 上記のことから、予想を上回るほどではないが、学習意欲を高めた生徒の学習面だけでなく生活面での支援もできている拠点となっていることは大変うれしく思っている。今後更に利用者を増やし、希望する進路を選択できる人を増やせるよう、取り組んでいきたい。

#### 5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリにて「S」が付されている団体）

※今回の申請においては「DS」枠で申請させていただきましたが、学識者からの積極的な関与ではなく、会計報告の際に公認会計士・税理士からの監査報告書の提出を予定しています。